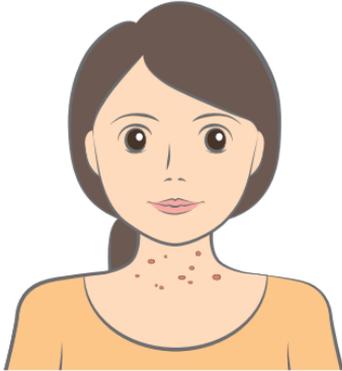


最近、首に茶色のポツポツができ気になります
軟性線維腫は皮膚科で治療できます
立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

軟性線維腫の症状



「局所麻酔をしたのち、小さなハサミで切除(手術)したり、数個であれば液体窒素で凍結して取ることが出来ます。炭酸レーザーで除去する方法もあります(自由診療・3mm以下1個1万3200円)。まずは皮膚科を受診して、治療法を相談しましょう」

年齢を重ね、首に茶色のポツポツとたくさんできてくることがあります。この症状について、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医で立川皮膚科クリニック院長・伊東秀記先生に聞きました。

「首にポツポツと大量にできるのは、軟性線維腫と思われます。アクロコルドンやスキンタッグとも呼ばれています。一般的にイボ(尋常性疣贅、水イボ伝染性軟属腫)と呼ばれるものはウイロウイルス性ですが、軟性線維腫はウイルス性ではありません。摩擦が多い部位にできやすく、首や脇に多発します。胸や背中にゆみなどの症状はなく悪性にはなりません。だんだん増えて見た目にも気になるようになれば治療します」

30代以上の女性に多くみられ、体質的なものも。首や脇にできる軟性線維腫は、直径が2、3mm程度で茶色や黒色っぽいイボ状です。体幹にできるものは首のものよりも大きく、直径が数mmから1cm程度で表面がシワシワしています。痛みやかゆみなどの症状はなく悪性にはなりません。だんだん増えて見た目にも気になるようになれば治療します」

院長:伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業



休診日: 日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

2021年6月25日付 「リビング多摩」に掲載されました

問い合わせ
TEL042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分